

## 事前課題 説明資料

### 【1】留意事項

- ◎実践研修での事前課題は以下のとおりとなります。「事前課題」は講義動画の視聴前から取り組むことができますので、演習日までに計画的に作成してください。なお、講義動画の最後の単元では、事前課題について説明しておりますので、事前課題作成の参考としてください。
- ◎事前課題では、事例検討用に担当ケースについてまとめる作業や、事業所が所在する地域のサービス担当者会議や自立支援協議会、地域生活支援拠点の状況について調べる項目があり、今後のサビ児管として業務を行うことを見据えて、可能な限り、職場の先輩サビ児管や、上司からの助言を得て作成をお願いいたします。
- ◎事前課題は、各コース演習日1日目の受付時にご提出をいただきます。事前課題の提出が無い場合は、研修を受講できませんので予めご了承ください。

### 【2】事務局提出用資料、グループ配布用資料（事前課題の未記入は認められません）

受付提出用・自分用	事前課題提出書（表紙）、事前課題①、②、③（提出は1部です）
グループ配布用	事前課題②、③（それぞれの科目の演習時にグループ内で使用します。）

\*提出部数・方法は、各運営団体の指示に従ってください。

### 【3】事前課題の内容

#### ①演習用事例「水道橋久さん」の100文字アセスメント

演習日1日目：科目「サービス提供に関する講義及び演習」の「個別支援会議の運営方法」では、演習用事例「水道橋久さん」を使い、サビ児管として個別支援会議を運営していく上での姿勢や取り組み方法を学びます。

別紙の演習用事例「水道橋久さん」の事例概要、「サービス等利用計画」「個別支援計画」を熟読し、現在の水道橋久さんの状況について「100文字アセスメント」を作成してください。

#### ②事例検討会報告様式

演習日2日目：科目「人材育成の手法に関する講義及び演習」の「実地教育（OJT）としての事例検討会の進め方」では、受講者各自が作成した「事例検討報告様式」をグループ内で1事例選出して、事業所内で行う事例検討会の展開例を学びます。

別紙の「事例検討会報告様式 作成要領」を熟読し、個人情報の匿名化に留意しながら、「事例検討会報告様式」を作成してください。

#### ③サービス担当者会議及び自立支援協議会の活用についてのまとめ

演習日2日目：科目「多職種及び地域連携に関する講義及び演習」の演習時に、事前課題を基にして、受講者各自の取り組み状況を共有し、連携のあり方について学びます。

事前課題にある設問内容（相談支援専門員との連携状況、地域生活支援拠点や自立支援協議会の状況等）について、事業所が所在する地域の現状を各自で調べ、「サービス担当者会議と自立支援協議会の活用についてのまとめ」を作成してください。

神奈川県サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者「実践研修」  
(2. サービス提供に関する講義及び演習「個別支援会議の運営方法」)

## 演習用事例「水道橋久さん」詳細情報

## 演習用事例「水道橋久さん サービス等利用計画

利用者氏名	水道橋久		障害支援区分	区分3		相談支援事業者名	相談支援センターひまわり	
障害福祉サービス受給者証番号	000XXX##		利用者負担上限額	0		計画作成担当者	藤沢さつき	
地域相談支援受給者証番号	000XXX???		通所受給者証番号	000XXX\$\$\$				
計画作成日	20XX年 4月 15日		モニタリング期間(開始年月)	20XX年7月		利用者同意署名欄		
<b>利用者及びその家族の生活に対する意向(希望する生活)</b>	<p>怪我をして働けなくなってしまうた父親に「今まで世話にかけたくない」という気持ちから、親元を離れてグループホームで暮らしながら、「いずれは普通に仕事をし立派な人になりたい!」と思って就労支援施設に通所している。仕事の自信もついてきて就労継続支援B型から就労移行支援に切り替えて、これから本格的に就職活動に取り組みたいと前向きな気持ちでいる。</p> <p>また「自分のことは自分でできよう」と前向きな気持ちでいる。</p> <p>以前はふさぎがちな姿がかったが、最近では以前の趣味を楽しめるようになっており、友人と呼べる相手もできてきた。</p> <p>父親は本人の前向きな姿勢を応援したい気持ちでいる。</p> <p>引き続き、グループホームでは生活上の様々な経験を積み、一人暮らしについて検討していきたい、就労移行支援では、本格的な就職活動を支援し、就労の実現を後押しします。</p>							
<b>総合的な援助の方針</b>	<p>暮らしの中で本人の楽しみを見つけての手助けをし、潤いのある生活を目指します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①ひとり暮らしに向けた計画を職員と一緒に立てていく。</li> <li>②働く自信を付け、就職活動に取り組む。</li> <li>③気の合う友人をつくり、休日を楽しむ。</li> </ol> <ol style="list-style-type: none"> <li>①グループホームで自炊の練習に取り組む。</li> <li>②企業実習などに積極的に参加していく。</li> <li>③日中活動や休日で楽しむことを増やしていく。</li> </ol>							
<b>長期目標</b>								
<b>短期目標</b>								
優先順位	解決すべき課題(本人のニーズ)	支援目標	達成時期	福祉サービス等		課題解決のための本人の役割	評価時期	その他留意事項
1	掃除や洗濯ができるようになるので、次は料理にもチャレンジしたい。	自分で掃除と洗濯を継続しながら、自炊もできるようになる。	12ヶ月	種類・内容・量(頻度・時間)	提供事業者名(担当者名・電話)	ピアハウス サービス管理責任者 川崎 生活支援員 海老名 世話人 鎌倉	6ヶ月	世話人さんと一緒に料理をして、自炊の仕方を覚えましょう。
1	仕事の力をつけて、就職したい。	実際の就労を想定した作業環境も体験し、具体的な仕事のイメージを持つ。	12ヶ月	就業指導員 横瀬	スマイル	企業実習などを通じて、さらに働く自信を付けてください。	3ヶ月	
3	楽しみを増やしていきたい。	日中活動や休日の時間に今まで以上に楽しむことを増やし充実した余暇を過ごす。	12ヶ月	共同生活援助	スマイル	自分の楽しいことを話して、これまでに以上に余暇の楽しみを見つけていきましよう。	6ヶ月	
4				共同生活援助	スマイル			

## 事例検討会報告様式「記入のポイント」

A4：1枚以上にならないように記入をお願いします。

受講者番号： ●●●●

受講者氏名： 横浜太郎

仮名： A氏	年齢： ●歳代	性別： <input type="checkbox"/> 男性 <input type="checkbox"/> 女性
<b>障害及び疾患名：</b>		
<p style="text-align: center;"><b>家族構成（ジェノグラム） *手書き可</b></p>	<p style="text-align: center;"><b>エコマップ *手書き可</b></p>	
<p><b>提出理由</b>（支援者自身が困っていること、具体的に検討してもらいたいこと）</p> <p>支援者自身（一人称で）具体的に記載する。例えば、「私が〇〇に困っている」、「私が〇〇さんの支援方針がわからない」など。</p>		
<p><b>本人の生活に対するイメージ 本人の言葉や行動</b></p> <p>できるだけ本人の言葉で書く。表情や態度、具体的に事実を記載。支援者の予測は可能な限り避ける。本人の訴えがない場合は、「ない」と記入。但し、家族や周辺の想いや期待があれば参考意見として記入。（児童の事例も同様）</p>		
<p><b>経過と現状</b>（概要）</p> <p>できるだけ簡潔にわかりやすく記載。出会った経過が現在の状況（暮らしぶり）を記載し、過去にできていたことや現在の興味、好きなことなど、個人や環境のストレングスなども意識しながら、当事者を他者に紹介するように記載する。具体的には、「人柄」「暮らしぶり」など自分の友人を他者に紹介するイメージを持つ。</p>		
スト レ ン グ ス	<p><b>性格・人柄/個人特性</b></p> <p>事実として書けることがあれば記載する。</p>	<p><b>才能・素質</b></p> <p>事実として書けることがあれば記載する。</p>
	<p><b>環境のストレングス</b></p> <p>事実として書けることがあれば記載する。</p>	<p><b>興味・関心/向上心</b></p> <p>事実として書けることがあれば記載する。</p>

## 事前課題②「事例検討会報告様式」 作成要領

次の内容を確認いただき、事前課題②「事例検討会報告様式」を作成してください。  
本様式の提出が無い場合、研修に参加できませんので予めご了承ください。

- ① 実践研修「人材育成の手法に関する講義及び演習」の単元「実地教育としての事例検討の進め方の理解」では、受講者各自が作成した「事例検討会報告様式」を用いて演習を行います。
- ② 記入事例は、可能な限り、現職場での継続事例（現在、支援を行っているケース）で作成をお願いします。難しい場合は、終了事例（過去に支援を行ったケース）でもよいです。  
ただし、いずれの場合であってもご自身が直接担当している事例をご記入ください。
- ③ 記入について（個人情報保護の観点から、個人情報を匿名化する）

厚労省「医療・介護事業者における個人情報の適切な取り扱いのためのガイドライン」（2004年12月）によると、個人情報に含まれる氏名、住所等、個人を識別する情報を取り除くことで、特定の個人を識別できないようにすれば個人情報の匿名化が可能であるとしています。

個人情報保護の観点から、本事例検討会報告様式では次のとおり記載し、事例の匿名化をお願いします。記述内容で匿名化ができていない項目がある場合は、再提出いただきます。

### 【記入方法】

- ① 氏名や特定の地名、支援機関や施設名等は仮名（アルファベット表記）とする。ご自身の所属する事業所も仮名とする。  
(例) A氏、F県D市、B事業所
- ② 年齢は〇〇歳代（前半・後半）とする。
- ③ 病名、既往歴は事例の状態像を把握するために必要不可欠なもののみとする。
- ④ 支援経過の日付は、事例展開に必要な不可欠なもののみとし、〇年〇月頃、〇年前など記載する。

## 【ジェノグラム】

クライアントの家庭状況を把握する為、家族構成を図式化して描き出すことにより、クライアントが抱える悩みや課題を解決する一助として役立つ“マッピング技法”の一つである。

以下の基本図形を用意、作成してください。

男性 □ 女性 ○ で表記します。 生命(他界)は、■ ● で表記します。

本人は、男性 □ 女性 ○ で表記します。

婚姻関係は以下の様に線で表記します。

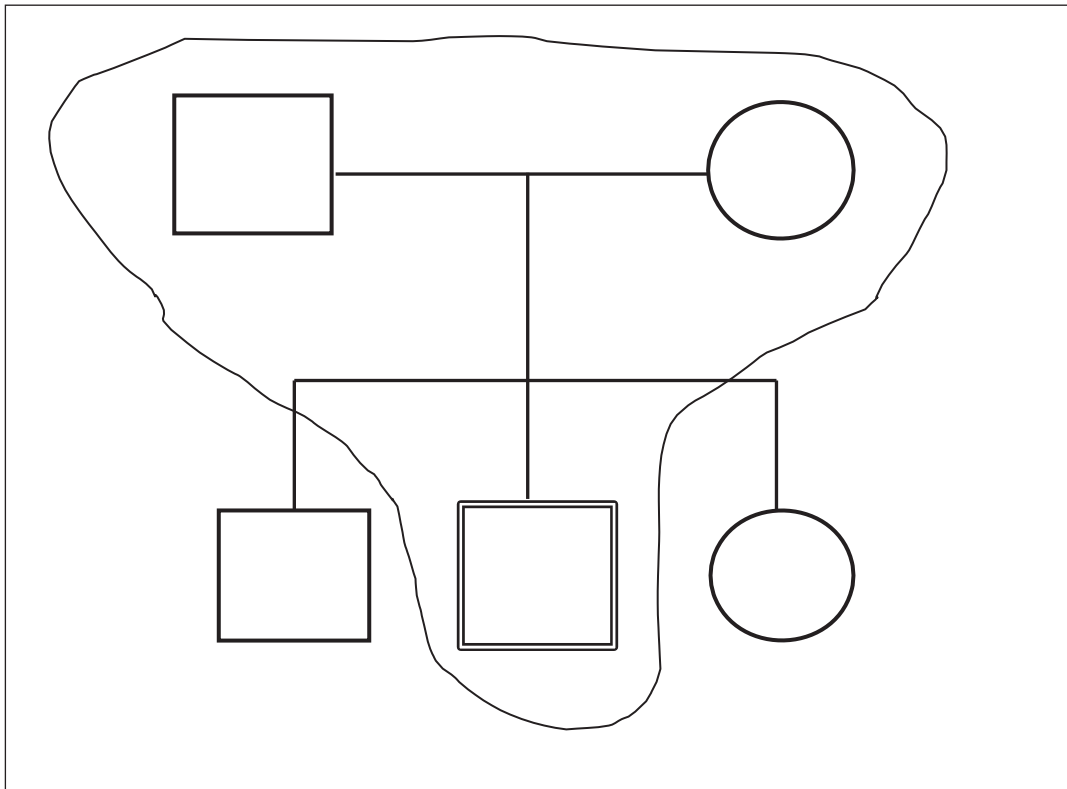


婚姻関係の場合



離婚・別居の場合

例) 男性 A 氏は、両親と 3 人暮らし。兄と妹がいるが、別居して生活している。この場合のジェノグラムは以下の様になります。※手書き線は、同居家族を表しています。



## 【エコマップ】

クライアントを中心に、家族や福祉サービスなどの社会資源を図式化して描き出すことにより、ケースを取り巻く、ソーシャルサポートネットワークを視覚的に把握することができる“マッピング技法”の一つである。

例) A 市在住のケース B 氏は、C グループホームで生活し、日中は D 生活介護事業所で生活している。また、E 相談支援事業所がサービス等利用計画を担当。家族は両親と姉がいる。休日に F ボランティアグループと外出し、登山している。

